

＜空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！＞ 2022.6.16

## JAL闘争を支える京都の会 News No.85

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

# あっちでもこっちでも対話が始まる！ ～伏見・大手筋商店街宣伝行動～

6月7日、165名を解雇したJAL稻盛和夫会長（当時：現在JAL名誉顧問）の地元の大手筋商店街（京都市伏見区）で、JAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ「ユニオンネットワーク京都」に結集する皆さん、「米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会」「9条ネット・滋賀」「合同纖維労組」の皆さんなど、15名に参加していただきました。JHU（JAL被解雇者労働組合）からはJHU副委員長の神瀬麻里子さんに参加していただきました。

JAL争議団の神瀬さんが、以下のように訴えました。

● あの解雇は必要なかったと何度も発言された伏見区在住の稻盛和夫氏には責任を取っていただきたい。JALはこれまでの事故で744名もの命を奪っています。（1952年～1985年まで）かたや全日空は1971年7月に起きた墜石事故（乗員乗客合わせて162名が死亡）以降、51年間1人の犠牲者も出していません。この違いは何なのでしょう。構造的な原因があるはずです。520名の命と暮らしを奪った123便事故のあと、JALは「絶対安全」「現場第一主義」「公正な人事」「労使関係の安定と融和」を誓いました。事故前にはそれが無かつたことを認めたわけです。その4つの誓いを守っていれば2010年の経営破綻はなかったで



しょう。そしてその誓いがありながら安全を担ってきた我々165名をクビにするのは間違います。

● 過去最高の営業利益1884億円を上げながらの解雇が認められたら誰一人安心して働けません。81名のパイロットを解雇して397名を雇う、CA（キャビンアテンダント）84名を解雇して6205名を雇う。これは国際条約違反です。破綻後、JALがCA



の採用を再開したのは2012年です。現在JALには7000名を超えるCAが働いていますが、そのうちほとんどが経験10年以下と言うことです。JALのCAは年間400名から600名が退職していきます。賃金が安く仕事がきつく、教えてくれる先輩がいないからです。夢を持って目指した職場なのに希望を失って退職せざるを得ない。JALは若者の夢さえも奪っています。まずは我々ベテラン乗務員を職場に戻すこと。乗



員と乗客は運命共同体です。ベテラン乗務員の首を切ると乗客の命が危ない。

● 5/12&13の岡山と京都での行動、17~20日の四国キャラバン、20日の福田議員の国会質問、30日の団交、31日の都労委、27日から始まった関東キャラバンなどがJALをグイグ



イ追いかけています。我々のクビを切った挙句に「あの解雇は必要なかった」「このお返しは必ずいつかしたい」と発言した稻盛和夫さんは今90才。1日も早く決断してください。

大手筋商店街はいつものようにビラの受け取りも良く、ビラを受け取らない方でも横断幕を注目して行か

れた方多かったです。また、話かけてこられる方も多く、10分くらい争議団の方の訴えを聞いておられた60才くらいの女性の方もおられました。チラシを配布すると、どんどんあちらでもこちらでも対話が始まりました。注目度が高く話しかけてくださる方が多いのが、ここ大手筋商店街=JAL 165の首を切った稻盛和夫氏の地元です。稻盛和夫やJALや国土交通省を追いかけています！・・その手ごたえを感じる宣伝行動でした。



## 次回 宣伝行動

7月26日(火)

午後2時~3時

伏見・大手筋商店街

呼びかけ

JAL闘争を支える京都の会